

令和5年10月30日

保護者様

横浜市立さつきが丘小学校
校長 仲川 由佳理

令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果報告

紅葉の季節、保護者の皆様にはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

4月に6年生が実施しました全国学力・学習状況調査の結果をまとめました。ご報告いたします。調査結果をもとにして、個々の児童の課題を踏まえた授業改善等に取り組んでいきます。

1 学力学習状況調査結果から

平均正答率 (%)	国 語	算 数
本 校	71	68
横浜市	67	65
全 国	67.2	62.5

* 横浜市の平均正答率と比べて、国語、算数は3~4ポイント高い状況にありました。

【国 語】

- 「漢字を文の中で正しく使う（いがい）（きかん）」設問では、正しい漢字を書くことができていました。
+約10ポイント
- 「目的に応じて、文章と図表などを結び付ける」設問では、必要な情報を見つけることができています。
+10ポイント以上
- 「情報をどのように整理しているか説明したものを捉える」設問では、情報と情報との関係付けの仕方などを理解し使うことができていました。+10ポイント以上
- ▲「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表す」設問では、書き表す工夫することができていませんでした。-10ポイント以上。無答の割合が多く、自信をもって書くことができない児童が多いようです。

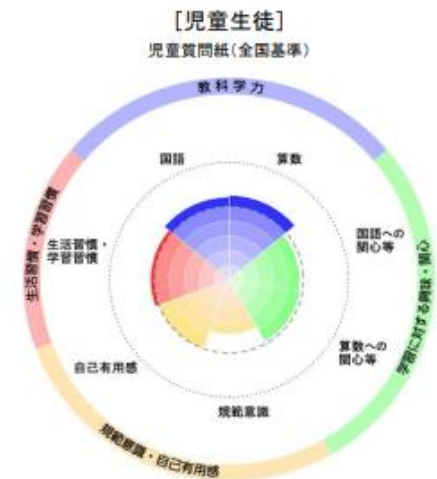
【算 数】

- 「()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る」設問では、正しく捉えられている割合が高いです。+10ポイント
- 「日常生活の場面を解釈し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」設問では、その結果から条件を正しく判断できています。+12ポイント
- $(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$ の筆算について、図を基に格段階の商の意味を正しく考えることができていました。+14ポイント
- ▲台形の意味や性質について正しく理解していない状況が見られました。もう一度確認する必要があります。
-3ポイント
- ▲図形の短答式の設問では、無答の割合が多かったです。一人ひとりの理解を支援していきます。

2 生活意識調査結果から

【チャート表より】

- 国語・算数とも、学力は高いです。
- ▲昨年度と比較すると国語・算数への関心は上がってきていますが、全国基準よりまだ低いです。
- ◇自己有用感・生活習慣・学習習慣は、全国基準ですが、規範意識は低い傾向にあります。



【児童質問紙結果より】

(8) 人が困っている時は、進んで助けますか。

→「当てはまる」の割合が低く(−6ポイント)。

「どちらかという当てはまらない」の割合が高いです。(＋6ポイント)

(9) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

→「当てはまる」と答えている児童の割合がとても低いです。(−17ポイント)、「どちらかという当てはまらない」児童の割合が高いです。(＋3ポイント)

(25) 今住んでいる地域の行事に参加しているか

→参加している児童は非常に少ないです。−16ポイント。

3 まとめ

学習面での結果では、国語・算数とも平均を上回る結果でした。国語では、文の意味に即して漢字を正しく書くことができていました。目的に応じて、必要な情報を選択したり、情報を関係づけたりすることができていました。一方で、図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表すことができず、無答の割合も多く、自信をもって書くことができない児童が多く見られました。作文の工夫を丁寧に支援していきます。算数では、どの内容も概ね理解していましたが、ただし、図形の性質を正しく理解できていない様子が見られます。もう一度指導していきます。

意識調査の結果では、自己有用感、生活習慣、学習習慣は全国基準とほぼ同じですが、全体的にははっきりした意思を示すのが弱い傾向にあります。規範意識は全国基準よりも低い傾向にあります。特に、「人が困っている時に進んで助ける」や「いじめはどんな理由があってもいけない」の設問に対して肯定的な考えの割合が非常に低いです。学校教育目標に示した「互いの違いを認め合い、思いやりのある子」を育むため、学年に応じた人権教育や道徳教育の充実を日常的に行っていきます。ぶれない善悪の判断を身に付けられる子どもの育成、児童一人ひとりの思いに寄り添う支援に取り組んでいきます。また、「今住んでいる地域の行事に参加している」児童の割合は、全国基準に比較すると低い傾向にありますが、本年度になり、地域の行事に参加できる機会は確実に増えています。地域と学校との連携を工夫しながら深め、児童の積極的な参加を促していきます。